

令和5年6月10日

第221号

NJ素流協 News

令和5年6月10日発行・発行所 ノースジャパン素材流通協同組合 〒020-0024 盛岡市菜園1丁目3-6 (農林会館5階)
TEL 019(652)7227 / FAX 019(654)8533 / <http://www.soryukyo.or.jp/index.html>

ノースジャパン素材流通協同組合

第20回通常総会及び 創立20周年記念式典を開催しました

特集1

NJ素流協 第20回通常総会

NJ素流協は5月23日、第20回通常総会を盛岡市のホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにおいて開催し、組合員約90名が出席した。

1 開会・理事長挨拶

横澤孝一副理事長の開会の辞に続いて、鈴木信哉理事長が次のように挨拶した。

「こういつた形で通常総会ができるのは4年ぶりということになります。この1年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症の拡大が始まって以来、木材市況は大変動だったと思います。国産材時代に向かう中で、製材品、合板の自給率は50%ほどでした。徐々に自給率が上がってきた中で新型コロナウイルス問題が発生しまし



鈴木理事長挨拶

た。その結果、アメリカで、巣ごもり需要により住宅着工戸数が急激に増え、世界中の丸太・製材品がアメリカへ入っていく、そしてコンテナ船を中国が支配して回ってこない。そのため日本の需要の半分である輸入製材品が入ってこないという大きな経済変動となりました。結果、国産材にシフトしなければならぬということでも供給に合わず、製品・丸太価格

も急上昇したわけです。ここに加えてロシア・ウクライナ問題で、ロシア単板が輸入禁止になるということで、輸入単板を使っていた合板工場は痛手を被り、カラマツの需要が急激に拡大したということが言えると思います。こうして大きく変動したわけですが、今、減産が始まっております。これにはやはり輸入製材品の荷余り状態が大きな影響を与えています。あの意味、製品輸入によって相場商売をして儲けるといふ体質がまだ残っていたと言えると思います。丸太の供給は今、厳しい時期ではありますが、必ずこの状況は回復すると私は信じております。何より、外材の輸入リスクが非常に高いと改めてみんな分かったと思います。やはり国産材に一定程度シフトしなければという流れは変わらないと思います。もう一度態勢を立て直して、情報を素早く提供していきたいと思えます。」

2 感謝状贈呈及び表彰披露

令和4年度の当組合の取り組み

において多大な協力と貢献をした組合員に対して、感謝状と記念品を贈呈し、感謝の意を表した。

【感謝状贈呈】

▽林業経営講座受け入れ協力者

有限会社道又林業

代表取締役 野邑 計 様

▽林業用種子確保の取組み協力者

杉澤林業株式会社

代表取締役 杉澤 幸四郎 様

小野寺木材株式会社

代表取締役 小野寺 隆治 様

▽研修等受入れ協力者

有限会社松田林業

代表取締役 松田 昇 様



感謝状贈呈の様子

【表彰披露】

岩手県農林水産業表彰

下山 裕司 様

第73回全国植樹祭において表彰されます。

【永年勤続者表彰】

服部 淳子 様

丸山 扶美子 様

10年にわたりノースジャパン素流協で勤務。

3 議事

議事に先立ち事務局から総会の成立が報告された(組合員214名中、本人出席58名、委任状による代理出席29名、書面議決書の提出107名)。廣瀬誠様が議長に選出され、議案の審議・承認が行われた。主な内容は次のとおり。

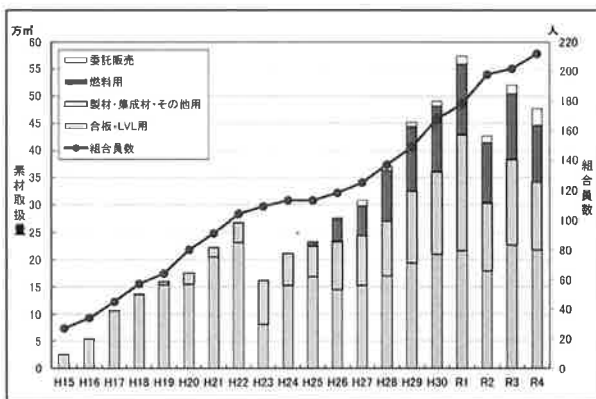
▽議案第1号「令和4年度事業報告書及び決算関係書類承認の件」

・令和4年度販売事業

①令和4年度の共同販売事業における素材取扱数量は、合板用針葉樹素材を主体としてスギ・カラマツ・アカマツ等合計で34万1265㎡(計画比82%、前年比89%)

となった。バイオマス発電用素材については、10万5154t(計画比78%、前年比86%)である。

また、これまでの素材取扱数量と組合員数の推移は図のグラフのとおり。



図(資料)N J素流協素材取扱量・組合員数の推移

木材製品輸入による製品余剰の影響及びロシアによるウクライナ侵攻の継続の不安が残る状況下において、共同販売による取扱数量は、バイオマス素材を含め55万㎡の計画に対して、44万6419㎡となり、計画比81%となった。さらに、東北森林管理局における委

託販売はWEB入札により、3万866㎡を販売し、令和4年度の取扱総数量は、47万7285㎡となった(バイオマス材1111㎡とする)。

東北森林管理局の国有林材シテム販売を活用して出荷量の調整や月別出荷量の平準化を図った。

また、定期的に各工場土場に出向き、納入された原木の品質を検査した。受入工場より苦情のあった納材について、その実態を調査把握して処理対応をすることも出荷者に対する指導を行い、可能な限り伐採現場を訪問し作業者へ直接指導も行った。

②ウクライナ情勢の悪化により影響を受ける製品を緊急的に増産し流通させるため、原木及び製品の運搬及び一時保管を支援する助成金(国産材転換支援緊急対策事業のうち、原木・製品の運搬・一時保管緊急支援事業助成金)を利用し、長距離輸送の運搬費に対する助成を受け資金の安定に努めた。

また、外出先等での組合員及び

販売先へ柔軟に対応するため、岩手県テレワーク導入推進事業費補助金を利用し、環境を整備した。

・森林再生に関する事業

①再造林基金事業の推進として、岩手県森林再生機構の基金造成にかかる協力を徴収し、1千67万4401円を基金に積み立てた。

青森県で創設された「青い森づくり推進機構」に木材流通業者として40万3355円の協力を拠出した。

②低コスト再造林促進のため、組合員が行う再造林経費の一部を助成する「再造林促進奨励事業」を実施し、組合員7名に合計40万円1千円を助成した。

③海岸防災林再生活動として、宮城県名取市にある「ノースジャパン100年復興の森」において定期巡視及び清掃に加え、9月に組合員及び役職員計14名が参加して、下刈り、つる切り、裾枝払い等を行った。

・技術指導と調査研究、情報提供に関する事業

①研修会等の実施

林業経営講座3回、林業講演会2回ほか、自己研鑽研修助成事業として、組合員8名に合計26万円6千円を助成した。

②技術指導

合法木材・バイオマス材等の適正供給に係る指導及び供給事業者認定の推進、N J素流協「伐採・搬出・再造林作業ガイドライン」の普及、「意欲と能力のある林業経営体」の登録支援、林業アカデミー・林業大学の研修の受け入れ、林業用種子（カラマツ）確保の取組指導、国等の補助事業活用へ向けた取組指導、スマート林業に関する技術指導ほか。

③調査研究

「責任ある素材生産事業体認証（CRL）」導入の取組、青年部会による業務改善等活動推進、原木トラック運送の効率化対策、鳥獣害拡大防止のためのシカ等の出没情報の収集に関する取り組みほか。

④情報提供等

「N J素流協ニュース」「立木公

売情報」発行、地区別組合員会議における情報交換、国・県等が行う研修会等の情報提供、労働安全衛生に関する情報提供ほか。

・受託・協定等に関する事業

①国産材の安定供給体制の構築に向けた東北地区需給情報連絡協議会（林野庁委託事業）

②災害時における応急対策業務に関する岩手県との協定。令和4年度は、協力の意思表示があった県内74組合員の名簿を県に提出した。

③スギ赤身土台の活用に向けた技術検討会（木を勉強する会と共催）



久しぶりの通常開催の会場の様子

▽議案第2号「令和5年度事業計画書及び収支予算決定の件」

【事業計画の基本方針】

木材の流通について、木材の需要に供給が追いつかない通称ウッドショックにより木材価格が高騰し、機を捉えた輸入業者が大量の製品輸入を行ったために製品余剰が発生し、年度半ばからは、大型工場の受け入れ制限や納入価格の低減がみられ、川下・川中の在庫問題が顕在化している。

さらに、円安、ロシアによるウクライナ侵攻の継続により、世界経済への更なる悪影響が懸念され、見通しが立ちにくい状況にある。

こうした情勢下で、余剰在庫問題の収束を見据えて、需要・雇用の創出はもとより、建築における設計変更や新たな知見による木材利用の促進、公共事業における木材需要の開拓を図り、川上・川中・川下を結ぶ情報流を更に充実させて、「強い森林・林業・木材産業」を構築していくことが喫緊の課題となっている。

わが国の林業・木材産業は、戦後
に先人達が造成した人工林の多く
が本格的な利用期を迎え、この豊
富な森林資源を「伐つて、使つて、
植えて、育てる」という形で持続
的に循環利用することを通じて、

森林経営管理制度を推進すると
もに国産材利用や基盤整備の促進、
主伐・再造林の推進等を図り、森
林資源の適切な管理と林業の成長
産業化の実現をさせることが重要
である。

また、頻発する自然災害に対し、
国土強靱化対策の加速化を図る必
要があり、災害に強い森林づくり、
森林の持つ公益的機能への国民の
期待も高まり、森林整備・保全の
推進が強く望まれている。

さらに、地球温暖化防止に向け
た脱炭素社会の実現を図るため、
J-クレジットの活用、改正公共建
築物等木材利用促進法、全国知事
会における「国産木材の需要拡大
に向けた提言」を踏まえ、再生産
可能な生物資源である木材の更な
る利用促進を目的として、その対

象を民間建築物、土木利用にまで
拡大する必要がある。

また、昨年度クリーンウッド法
の改正があり、今後、輸入材・製
品を含めた合法伐採木材等の確認
が強化される。

このような流れを確実なもの
とし、国産材の安定かつ循環利用に
向けた体制の構築を図るとともに、
国内の森林、林業、木材産業の体
制強化を図ることが最大の課題で
ある。

このような状況に適切に対応す
るため、ノースジャパン素材流通
協同組合は、組合のスローガンで
ある
・「A〜D材までのすべてを活用す
る」

・「組合員ファーストを理念とする」
・「ギブ・アンド・ギブに徹する」
を継続するとともに、「売り手良し、
買い手良し、地域良し」の三方良
しに加えて、せっかく育った木に
正当な評価を与える「丸太良し」
の四方良しを引き続き目指す。
あわせて次の10の課題を令和5

年度に取り組む具体的テーマとし
て捉え、情報流組織として事業展
開を進める。

①合板・LVLの国産材化の更な
る進展に努める。
②ヒノキ以外の土台材の国産材化
の進展に努める。

③外材が主流を占める集成材の国
産材利用の進展に努める。
④鉄骨造・RC造に代わる国産材
木造建築物の普及に努める。
⑤広葉樹の用材・原料材の適切な
分別を指導するとともに、国産広
葉樹材利用の進展に努める。

⑥短コロから小径木まで、薪材・
新用途チップ・木質バイオマス用
材等の利用を促進し、全木・全幹
の利用により山元価格の上昇を図
る。

⑦意欲と能力のある林業経営者の
認定に協力し、林業事業者の体質
強化を促進する。
⑧青年部会の活動を充実させ、後
継者の育成及び若年労働力の確保
に努める。
⑨盛岡宣言の実現を図るとともに、

再造林を進めるための各種取り組
みを加速させる。
⑩川上・川中・川下を結ぶ情報流
の更なる充実

以上を踏まえ、当組合の活動エ
リアにおいて、安定した需要に対
応した丸太の供給に努めるととも
に、組合員の発展のため、求めら
れる丸太の質・量・価格、安定供
給先の確保だけでなく、後継者の
育成、新需要の開発、各種資格の
取得、各種学習したいことへの協
力等、ありとあらゆる組合員の悩
み事に、従業員一同真摯に対応し
ていくことを基本方針とする。

【事業計画】
・令和5年度の共同販売計画量は
表のとおり。

表 令和5年度共同販売計画量

区分	計画量
合板用素材	240,000 m ³
製材・集成材用 素材・その他	175,000 m ³
計	415,000 m ³
バイオマス材 発電用	135,000 t

・東北森林管理局等委託販売業務において素材3万5000m³を取
り扱う。

・再造林基金事業等、森林再生に
関する事業に引き続き取り組む。

・組合員の林業技術の向上と経営
改善を図るため、引き続き各種研
修を行う。

・素材生産、森林整備、木材流通
が抱える課題の解決に向け、「責任
ある素材生産事業体認証(CRL)」

導入に向けた取り組み、青年部会
活動の推進、原木トラック運送の
効率化対策やその他組合員が要望
する調査研究に引き続き取り組む。

・各種情報の提供、受託・協定等
に関する事業に引き続き取り組む。

・当組合創立20周年を記念する事
業を行う。

・「第73回全国植樹祭いわて202
3」に関する事業（令和5年6月

4日開催）として、ボランティア
協力や、岩手県の森林・林業や観
光等の展示PR、震災復興の情報

発信、県産品の販売等を行う「お
もてなし広場」に当組合ブースを

出展し、当組合青年部会の事業紹
介、県産材製品・薪等のPRを行
う。

▽議案第3号「令和5年度手数料
率決定の件」

共同販売の手数料については、
販売代金の3・25%以内（消費
税別）とする。

※本年度の手数料率は2・5%と
する。

その他、議案第4〜7号まで全
て可決された。

特集2

NJ素流協
創立20周年記念式典

NJ素流協第20回通常総会の後、
同会場で、創立20周年記念式典及
び祝賀会を開催した。40名の来賓
の皆様にもお越しいただき、総勢
約150名での開催となった。

1 開会・理事長挨拶

横澤孝一副理事長の開会の辞に
続いて、鈴木信哉理事長が次のよ
うに挨拶した。

「20周年記念式典の開催に当たり
まして、たくさんの方にお越し

ただき誠にありがとうございます。

20周年を迎えたということ、まず
組合員の皆様に深く感謝申し上げ
たいと思います。加えて、ご来賓

の行政の方々、そして金融機関の
方々、大変ありがとうございます
た。そして何よりも、山で伐った
人達の丸太を引き受けてくださっ
ております供給先の工場の方々、

大変ありがとうございます。こ
れが無ければ20周年は迎えられな
かったと思っています。我々はこ

の20年間、とりわけここ10年、国
産材時代に向けて努力をしてきた
ところでございます。国産材時代
とは何かと言いますと、山の木を

伐って、林道を通して工場に届け
る。これが一番大きな目的でござ
います。量が少ない時代であれば、

原木市場を通じて工場に届けるこ
とができたわけですが、大量供給

の時代は、やはり直接納入しなけ
ればならない。それには、ありと

あらゆる情報を流さないと安定的
に供給できないということになり

ます。山側の素材業者さんをまと

めて、いろんな木を欲しいと思う

工場に届けるアメンバー型の供給を
していくという意味では、フロン

ティアなモデル事業として取り組
んでいる事業体だと私は確信して
おります。ただ、フロンティアな
モデル事業ということになると、

なんとなく、目の前に真っ白な原
野が広がっていて自由に行けるよ
うな気がしますが、実際には、山

あり谷あり障害物あり。これをど
うやって乗り越えていくかが大変
難しい問題です。これをなんとか
切り拓いていくということが、我々

職員一同、皆様のために協力して
いくことだと思っています。ノー
スジャパンとしてはギブ・アンド・

ギブ、常に相手の要望に応えて協
力していくことが基本理念でござ
います。そういう意味では、ギブ・

アンド・ギブ・アンド・ギブにと
いうように永遠に続くということ

をやっていききたいなと思ってい
るところです。併せて、林業をやっ

ている地域はやはり山村にあり、
中々情報流が確立されていない、

しにくいというところがあります。そこで、我々は「売り手良し、買い手良し、地域良し」にプラスして「丸太良し」という言葉を付け加えています。せっかく先人が育てた丸太を正当な評価で売ってあげたいという気持ちです。先代に感謝するとともに次代につないでいくという責務を担っていくことがこれからの林業事業体の役割ではないかと思っています。こういったことを実現するために、皆様のご意見・ご要望に的確に応えていく必要があります。国産材が認知されるには30%、機動力を上げていくには50%、そして時代を確立するには80%という数字が必要だと思えます。それに向けて我々職員一同努力してまいります。そして、組合員の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。20年の感謝を申し上げるとともに、次の30周年記念式典が行えるよう頑張っ

て参りたいと思えます。」

2 感謝状贈呈及び表彰披露

【感謝状贈呈】

◇役員表彰

多年にわたり役員として組合の発展に多大な貢献をされた方に感謝の意を表した。

下山 裕司様

高橋 早弓様

田鎖 昇様

松田 成輝様

高橋 清志様

伊藤 賢二様

◇販売先企業表彰

多年にわたり素材供給先として献身的協力をいただいた企業に感謝の意を表した。

有限会社川井林業

代表取締役社長 澤田 令様

セイホク株式会社

代表取締役社長 井上 篤博様

西北プライウッド株式会社

代表取締役社長 井上 篤博様

ホクヨープライウッド株式会社

代表取締役社長 井上 篤博様

ファーストプライウッド株式会社

代表取締役社長 大河 龍也様

株式会社一戸森林資源

代表取締役 小林 直人様

花巻バイオチップ株式会社

代表取締役 高橋 明朗様



役員・販売先表彰の様子 皆様本当にありがとうございました！

【感謝状拝受】

株式会社商工組合中央金庫様
創立20周年を迎え、株式会社商工組合中央金庫様より感謝状を拝受した。

3 来賓祝辞・祝電

来賓を代表して、東北森林管理局 局長 宮澤俊輔様、岩手県知事 達増拓也様（代理・農林水産部林務担当技監兼全国植樹祭推進室長 工藤亘様）、岩手県森林・林業会議 理事長 中崎和久様（代理・専務理事 千田育郎様）、日本合板工業組合連合会 会長 井上篤博様（代理・ホクヨープライウッド株式会社 専務取締役 林孝彦様）から御祝辞を頂いた。

また、セイホクグループ本社 代表 井上篤博様、石巻合板工業株式会社 代表取締役社長 野田四郎様、日新林業株式会社 代表取締役社長 又賀航一様、株式会社岩手銀行 執行役員本店営業部長 藤原学様、株式会社商工組合中央金庫 盛岡支店 支店長 井上尚洋様から御祝電を頂いた。

トピックス

東北地区原木トラック 運送協議会 第7回通 常総会を開催しました

令和5年5月23日、岩手県盛岡市において、東北地区原木トラック運送協議会（松田光治会長）は第7回定時総会を開催した。

開会にあたり、松田会長より「皆様方より多くのお力添えもあり、当協議会も大分周知されてきたように思います。特に「東北森林管理局への要望活動」の成果が表れ、トラックの購入や作業クレーン等の購入補助金が適用されております。是非、補助金を上手く活用いただき、経営の負担を軽減しながら事業展開していただければと思います。また、林道の維持管理に対する具体的な取組（敷鉄板の貸出）が実施され、林道の修繕等の改善がなされております。林野庁・東北森林管理局様におかれましては、ご尽力賜りまして感謝申し上げます。また、今後の課題として、

労働時間管理が大変かと存じますが、関係機関に働きかけながら改善したいと考えている。」と挨拶があった。

続いて、来賓のノースジャパン素材流通協同組合 鈴木信哉理事長より、「トラック協議会を作るキッカケとして、何と言っても、山からトラックで丸太を下げなければならぬ。これが最大のポイントだが、ここを

林業団体に取り込まないと仕事上手くないという事が2つ目の最大ポイントと私は思っている。その結果、トラックに対する補助金に緑ナンバーが対象になった。また、今年から平ボデイ車にも補助金がでるといふ仕組みに変わりました。今、若干木材市況が低迷して納入制限が行われていますが、納入カレンダーが真っ白になるよう我々も努力して参りますので皆様方のご協力もお願いしたい。」と祝辞を頂いた。

この後、松田会長の司会で議事に入り、議案第1号（令和4年度事業報告）では、東北森林管理局の林道プロジェクトチームとの合同現地検討会の開催、視察研修、林業大学校

や林業アカデミーのインターンシップの受入れ等を報告し収支決算と合わせて承認された。

続いて、第2号議案（令和5年度事業計画）について、林野庁・東北森林管理局への要望活動、林道の維持管理の取組等の計画が予算案とともに承認された。

第3号議案（役員改選）では、協議会役員の任期満了に伴い、役員改

東北地区原木トラック運送協議会 新役員一覧

役職名	会員（会社）名	会社役職	氏名
会長	有限会社 三栄興業	代表取締役	松田光治
副会長	丸富運輸 有限会社	代表取締役	遠澤卓輝
副会長	株式会社 八幡平貨物	代表取締役	齊藤良二
理事	有限会社 クレイワーク	代表取締役	斎藤一夫
理事	有限会社 白鳥運送	代表取締役	白鳥晶幸
理事	有限会社 金山運輸	代表取締役	寒河江慶弘
監事	株式会社 大川運送	代表取締役	佐々木豊秀
監事	株式会社 宝栄運輸	代表取締役	室野努史

選が行われた。新役員は、表の通りとなった。

全素協第49回総会に出席

5月18日、全国素材生産業協同組合連合会の第49回総会が東京都において開催され、当組合から鈴木理事長が出席した。

令和4年度事業活動報告と収支、令和5年度事業計画と収支予算がそれぞれ承認された。

受入検査を実施しました！

この検査は、工場等へ搬入された丸太について、①納入された納品書と実際納入された現物と相違はないか②木口表示されている径級が適切であるか③丸太の長さや曲がりや規格の範囲内であるかなどを確認するものであり、組合員が出材する原木の品質向上、販売先との信頼関係の維持を目的として、定期的に実施するものです。

○総評○

成績 .. 良くない
改善点.. 納入伝票の本数に対して、

実際に納入された原木の本数に差異があった。節袴が残っていたり、長級に過不足があったり、原木にチェーンソーの切り跡があるなど、規格外となるものが見られた。

当組合では、出材原木の品質向上を図るとともに、納入先工場との信頼関係を維持していくため、今後も定期的に受入検査を行うこととしていきます。組合員の皆様には、造材の際は十分注意していただくとともに、納品書について正確に記載していただくようお願い申し上げます。

お知らせ

HPに「悩みごと相談室」を開設しました！

注目!
ノースジャパン素材流通協同組合では、素材に関すること、経営や会計業務など組合員等の皆様が直面されるさまざまなお悩みに、専門のベテラン職員がご相談に応じております。

▼〇〇県産材、〇〇市町村材を入手したいが、何とかありませんか？

▼特別な長級、径級の特注材を納入できる人はいませんか？

▼広葉樹の採材のしかたは？ 効率化のポイントは？

▼林地残材処理のしかたは？

▼高性能林業機械の補助金申請のくわしい方法は？

▼山林相続もあるので法人化したいが、何から始めればいい？ どこに相談したらいい？

▼従業員の利用条件や職場環境の向上を図るために役立つ補助金や助成金の情報を知りたい：などなど

ホームページから、または直接お電話でお気軽にご相談ください！

ノースジャパン素流協 HP
「悩みごと相談室」
https://www.soryukyo.or.jp/contact_nayami/



青年部会『げんき森林モリフェスティバル』今年も開催!

ノースジャパン素材流通協同組合

青年部会が主催する、いわての森林づくり県民税を活用した児童・生徒向けの森林・林業普及啓発イベント

「第3回げんき森林(モリ)モリフェスティバル」の開催が決定しました。

当日は、ハーベスタ等の高性能林業機械による作業実演、木のぼりや丸太切り等の体験、林業機械メーカー等による展示等、森林や木、山のしごとについて知ってもらうための企画を用意して皆様のご来場をお待ちしております。

なお、イベントの詳細についてはN J素流協ホームページに掲載しております。

重要!
本年度の地区別組合員会議を6会場で表の通り開催します。

令和5年度地区別組合員会議を開催します!

【日時】令和5年8月6日(日)
10時00分～15時30分
【会場】岩手県民の森(八幡平市)

詳細は別途お送りしている案内文書をご覧ください。皆様のご参加を

お待ちしております!

日時	市町村	会場
6月19日(月) 13:00~	八幡平市	八幡平市立荒屋コミュニティセンター(体育館)
6月21日(水) 13:00~	大崎市	鳴子公民館(ホール)
6月27日(火) 13:00~	住田町	住田町農林会館(多目的ホール)
6月28日(水) 13:00~	七戸町	七戸中央公民館(第1研修室)
7月4日(火) 13:00~	大館市	大館市北地区コミュニティセンター(研修室)
7月5日(水) 13:00~	久慈市	久慈市文化会館アンバーホール(第1~3会議室)

国有林素材のWEB入札にご参加ください!

今年度も国有林素材のWEB入札を行っております!素流協ホームページ→委託販売WEB入札のページを都度ご確認ください。

入札にはログイン用IDが必要となりますので、入札を希望される方は営業企画部までご連絡下さい。素流協ホームページからID発行依頼書をダウンロードすることもできます。

ちよつと気になる木の話

83

木材需給統計は本当か？
— チップ業界の激変 —

木材需給統計は、国調べ、都道府県調べ、業界団体調べがあり、

品目毎に正確度には差がある。「薪」の生産量は都道府県調べで、全くといっていい程あてにはならない。防腐木材も、すべての業者が防腐工業組合に加入している訳ではないので正確ではない。

特に、今激変しているのは、「チップ業界」である。需給統計上、パルプ、チップ用とされ、製紙業界向けだったことは明らかである。しかし、地方のチップ業界をみると明らかに変化している。始まりは、国産材の大規模工場が出来始めたときから、KD用（人工乾燥木材）としての利用量が増加してきていた。機械プレカット全盛時代では、KDが必要だったからである。

チップがバイオマスとして利用されている。特に集成材工場は、丸太からの製品歩止まりが40%ということもあり、こうしたケースが増えている。

最近の特徴は、製紙工場向けの固定式チップ工場が、移動式チップを併設して、製紙用とバイオマス用とをダブル対応している工場が増加している。中には、固定式チップの更新をすべきか悩んでいるケースも増加している。

また、新型コロナウイルスがらみの巣ごもりでキノコ需要の通年化が進んだこともあり、キノコ菌床用の増加にも対応している。キノコ菌床用は、東日本、北日本に需要が片寄っていることも特徴である。

加えて、大きい需要は、畜産用の敷きチップである。かつて稲ワラが使われたが、稲刈りの機械化により、敷きチップ利用が増大している。

ここに来て、急ピッチで進んでいるのが、素材生産業者による山元でのC材、D材の移動式チップパーによるバイオマスチップの供給である。実際に、沢山の素材生産業者が事業化しているが、新たに始めようとする業者も多く、今機械を発注しても1年半から2年待ちの状況となっている。とりわけ、末木枝条・短コロは容積に比較して表面積が大きく乾き易いことはメリットである。バイオマス発電所では、含水率が低くなる程単価設定が高い発電所も増加している。

加えて、北日本は雪も降る中、冬寒く、冬場だけはPKSを使うところもあったが、PKSも大きく値上がりしており、含水率の低いチップのニーズは急上昇しているといえる。しかし、こうした素材生産業者は、チップ工業会メンバーでは、全くないといえる。加えて、素材生産業の全国団体に加入しているのは一部の県であり、団体がある県でも、すべての素材生産業者が加入しているわけではない。

その上、木質バイオマス発電所の新規設置が進む中、異業種からの素材生産業進出が増加し、移動式チップの導入計画が目白押しである。

逆に、木質バイオマス発電所の団体をつくって、統計を作り直してみても必要かもしれない（キノコ菌床用、敷ワラ代替用も利用者調査も必要か？）別のケースとして、電気代高騰で、中小製材工場が背板チップの自動化ラインをストップして、背板のまま、バイオマス発電所のチップ工場へ入れているケースも出てきている。

ここまで、バイオマス用が増加する中、チップ工業会とは別の形で統計が必要な時代に入ったのかもしれない。

余談だが、燻製用ヤマザクラチップが海外へ？日本のハムメーカーが海外工場設置。味を変えないために……。うーん、それも当然か。

令和5年5月分の販売実績

樹種	合板・LVL用			製材・集成材・その他用			計		
	当月出荷量 (m ³)	前月比 (%)	前年同月比 (%)	当月出荷量 (m ³)	前月比 (%)	前年同月比 (%)	当月出荷量 (m ³)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
スギ	10,210	96.7	70.6	8,953	124.7	103.3	19,164	108.1	82.8
カラマツ	4,462	135.0	126.6	18	17.5	0.5	4,480	131.4	64.6
アカマツ	1,288	88.2	55.3	0	0.0	0.0	1,288	87.3	47.3
その他	0	*	*	191	117.3	58.1	191	117.3	58.1
合計	15,960	104.2	78.5	9,162	122.8	71.6	25,122	110.3	75.8

樹種	燃料用		
	当月出荷量 (t)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
スギ	4,312	93.4	139.9
カラマツ	3,285	99.0	107.7
アカマツ	3,486	117.2	117.7
その他	105	910.6	128.4
合計	11,189	102.4	121.9

樹種	今年度累計			
	合板・LVL用 (m ³)	製材・集成材・その他用 (m ³)	計 (m ³)	燃料用 (t)
スギ	20,764	16,132	36,896	8,929
カラマツ	7,765	123	7,888	6,604
アカマツ	2,749	15	2,764	6,462
その他	0	353	353	117
合計	31,278	16,623	47,901	22,111
目標達成率 (%)	13.0	9.5	11.5	16.4
計画量	240,000	175,000	415,000	135,000

注) *印は前月又は前年同月実績がなかったことを示す。

【令和5年5月の需給動向】

- 集成材や合板製品は、4月以降一時的に出荷に動きがあったものの低調な状況が続く。
- 各工場、原木在庫の長期保管もあり、劣化を防ぐため在庫消化を優先する状況。
- 価格については製品価格が値下げ傾向のため、原木価格も段階的に値下げに転じる。

森と共にWOODSとの説もある。W

耳からウロコ

林、森は木の複数形？

— 英語と日本語は違う！ —

我々の関わっている仕事は、木材、林業、森林と木に関わっている。木が沢山あるので「林」、更にそれ以上の木が沢山あるので「森」なんだろうか？英語では、a 木 (単数)、木s (複数)のはずだが、日本語には英語のような単数、複数形は無い。一本杉、二本松、六本木と前に数を書けば明確である。沢山あれば、木々、山々、峰々とわかり易い。それなら、林と森の違いは木の多さなんだろうか？意外にも、林の語源は「生やす」で、森の語源は「盛る」だとされている。森を使う例では「鎮守の森のように少し盛り上がった森林である。林を使う例では、「屋敷林、防風林」のように人工的に使った森林となる。「う〜ん？」でも天然林、原生林とも言っているので語源から広がった気がする。でも、木が2つで「林」、木が3つで「森」、木が生えている土地の広さと緑のかたまり具合だと気分的に思えてならない。ちなみに、英語で林は「GROVE」、森は「WOODS」、森林は「FOREST」とされるが、林と森と共にWOODSとの説もある。W

OODSは人工的で狭く、FORESTは天然的に広いイメージかな？「丸太になればどうなるか？」という、市場では1本売り、極売りと単数、複数で分けてあるが、極は木が並ぶの漢字なので、その意味かと思えるが、単極売りの用語もあり、やはり日本語には明確な複数形はないかな。山は、更に盛り上がった状態をあらわすと言われ、森より、更に盛り上がる。山盛りのリングゴ完売の意味もなるほどである。とすれば、最近発足した長野麻子氏の「モリアゲ」は真に「森(盛り)アゲ」となるのかな。さて、ここで人の単数、複数になると、人々、人達、男衆と日本語ではなると、日本で使われている英語のポピュラーなものとして、次の例を挙げたい。

「Boys be ambitious」
— 青年よ大志を抱け — 複数

「Ladies Fashion Floor」
— 婦人服販売階 — 複数

「Cinderella boy」
— シンデレラボーイ — 1人だけ選ぶので単数

「Men's Fashion Corner」
— 紳士服売り場 — 複数

そうなる「Lady First」は複数ではなく、単数である。1人の女性(だけ)を優先？そういう意味だったのかあ!!